

助産婦雑誌 第45巻 総目次

1991年1-12月

(表示は、題名：筆者名、号数、開始ページ数)

特集

[1月号] 第22回 ICM 学術大会

グラフ

第22回国際助産婦連名学術大会——世界の助産婦
6,000人が神戸に集う, 1, 4.

助産婦の木をこれからも——第22回 ICM 学術大会
を終えて: 前原澄子, 1, 9.

ICM と第22回 ICM 学術大会の概要: 本誌, 1, 10.

第22回国際助産婦連盟(ICM)学術大会報告——助産
婦の大いなるサバイバル計画: 松岡 恵, 1, 14.

キャロル・ハード次期 ICM 会長インタビュー: 本誌,
1, 22.

[インタビュー: 海外からの参加者に聞く]

1990年9月ニュージーランドの女性と助産婦は勝利
を遂げた: Karen Guilliland ニュージーランド, 1,
28.

変革のリーダー, 英国ラディカル・ミッドワイフ協
会: Soo Downe イギリス, 1, 31.

アフリカの生活に即した母子保健の向上を: A.O.
Payne ナイジェリア, 1, 34.

専門職としての理性で性差を越える男性助産婦の立
場: Alex Wright オーストラリア, 1, 38.

北極圏での助産婦活動: Betty Vera カナダ, 1, 42.
助産婦の半数以上が海外で働くフィリピン: Alice
Sanz de la Gente フィリピン, 1, 46.

アメリカでも重要性を増す助産婦の役割: Joyce E.
Thompson アメリカ合衆国, 1, 49.

助産婦の教育・業務管理を自前で行なう英国の先進
性: V.J. Tickner イギリス, 1, 53.

ブラジルの助産婦は産科専門看護婦: Maria Alice
Tsunechiro ブラジル, 1, 57.

[大会印象記]

ナイス・オーガニゼーション! ICM 大会: 馬場善
子, 1, 62.

世界の仲間からの贈物: お産研究会, 1, 66.

感性のアンテナを高くかかげて: 曽我部美恵子, 1,
72.

エネルギーも課題も蓄積, ICM in KOBE: 小山豊子,
1, 76.

出会いと興奮と感動と: 丸山真紀子, 1, 79.

目を見張りつづけた6日間: 村田由紀子, 1, 82.

“北”の女と“南”の女; 状況の違いを認識: 大原多
喜子, 1, 85.

ICM 大会から得た多くの収穫: 鹿野恵美, 1, 88.

[2月号] 新しい周産期記録のあり方

周産期記録の特徴: 橋本武次, 2, 8.

妊産婦の援助に生かす記録「妊婦の背景および経過
表」の検討: 菅野峰子・平山ミツヨ・阪井 胖, 2,
15.

周産期の情報処理について 大阪府立母子保健総合医
療センターの場合: 末原則幸, 2, 25.

教育的に効果のあがる助産録: 三井政子・菅沼美奈
子・石川裕子・速井佐智子, 2, 34.

「看護を記録する」ということと「看護を考える」と
いうことと: 岡部恵子, 2, 42.

[3月号] 長期臥床妊婦の看護

長期臥床妊婦の医学・生理学的問題点: 島田信宏・植
野信水, 3, 8.

切迫早産で長期臥床が必要な妊婦の看護: 長南記志
子・加来久美・関島英子, 3, 14.

塩酸リトドリン治療妊婦の看護——筋力低下予防を中
心として: 埼玉医科大学総合医療センター産婦人科
病棟スタッフ, 3, 23.

切迫流産妊婦の看護: 私のみ振り返り: 関水幸子, 3,
29.

妊娠から分娩まで, 長期安静体験記: 仁田原恵子, 3,
34.

[4月号] 女性と助産婦——新しいパートナーシップ へむけて

今, 助産婦に求められていること——妊産婦の声から
学ぶ: 内田智子, 4, 8.

[産む側から助産婦さんへ]

助産所での出産体験が教えてくれたこと: 金城順子,
4, 14.

不安のない心でお産したい: 加藤はるみ, 4, 18.

大病院で家庭的な出産に挑戦: 筑井千枝子, 4, 22.

私の理想、自宅出産を実現して：増沢 緑，4，26。
出産に立ち会った僕の体験：白石 孝，4，30。
[座談会] 助産婦が女性のパートナーになるためには
——「産む側から助産婦さんへ」を読んで：寺田恵
子(司会)・赤山美智代，毛利多恵子・根本悦子，4，
34。

[5月号] 出生率減少

「1.57 ショック」を分析する：大日向雅美，5，8。
出生率減少；助産婦としての受けとめ：大沢文子，5，
17。
[鼎談] 育児休業を考える：前原澄子・高橋恵子・平
山宗宏，5，24。
1.57 ショックについてのボクの認識：味沢道明，5，
32。

[6月号] 周産期ME 機器マニュアル

カラーグラフ，6，3。
周産期ケアの向上のために：橋本武次，6，5。
ME 機器とは：橋本武次，6，6。
ME 機器の正しい取り扱い：馬場一憲，6，8。
分娩監視装置本体：金岡 毅，6，22。
分娩監視装置付加機能：辰村正人・中嶋和彦，6，38。
ドブラ胎児心拍検出器：吉田幸洋，6，44。
超音波断層装置：岡井 崇，6，47。
超音波血流計測装置：田中 守・名取道也・野澤志朗，
6，56。
母体循環動態の監視装置：日高敦夫
血圧モニタ，6，62／心拍出量モニタ，6，65／出血
モニタ，6，68。
分娩室の機器：佐藤 章・大川敏昭
吸引娩出器，6，72／インファントウォーマ，6，
74／血液ガス分析装置，6，76／超音波洗浄装置，
6，78。
産科麻酔器：西島正博・野田芳人
吸入麻酔器，6，81／部位麻酔用器具，6，84。
新生児の保育用機器：清水光政
保育器，6，86／酸素濃度計，6，94／酸素コントロ
ーラ，6，96。
新生児の監視装置：大石昌也・仁志田博司
新生児監視装置の特徴，6，97／呼吸心拍監視装置，
6，99／経皮酸素・炭酸ガス分圧測定装置，6，
103／パルスオキシメータ，6，106／血圧測定装置，
6，110。
新生児の治療用機器：葛西健郎・小西峯生・藤原哲郎
人工呼吸器，6，113／無呼吸回復装置，6，122／輸
液ポンプ，6，124／光線治療器，6，128／黄疸計，
血糖測定器，6，131。
コンピュータ：原 量宏，6，133。

[7月号] 新カリキュラム助産婦教育の1年(Ⅰ)

新カリキュラムの理念と実践：水谷喜代子，7，8。

[新カリキュラムに基づく教育の展開]

ゆとりと自主性を育む教育——千葉県医療技術大学校
助産学科：土岐初恵，7，16。
社会に貢献できる助産婦の育成——岐阜県立衛生専門
学校助産学科：神谷恵里子・澤田恵美子，7，21。
学力と人格の統合をめざした教育——大阪大学医学部
附属助産婦学校：増 洋，7，28。
34名の学生に対する専門教育の大きな課題——国立
小倉病院附属看護助産学校助産婦科：浅生慶子，7，
35。
主体的に活動できる能力の啓発のために——賛育会病
院助産婦学校：粟飯原真弓，7，40。
[座談会] 助産婦教育——なにが問題か：宮里和子・
久米美代子・光本朱實・今関節子，7，45。

[8月号] 不妊

不妊症について：広井正彦・川越慎之助，8，8。
我が国の体外受精および配偶子卵管内移植の現状：馬
岡 陽・野田洋一・森 崇英，8，15。
不妊患者への心理的ケア：清水哲也・千石一雄，8，
21。
不妊治療の社会的・倫理的側面について：品川信良，
8，25。
[インタビュー] 鈴木雅洲先生に聞く：聞き手・藤原
美幸，8，32。
不妊であることを通して：赤城恵子，8，39。
新カリキュラム助産婦教育の1年(Ⅱ)
[新カリキュラムに基づく教育の展開]
ゆとりある学習で学生の学びを大切に——東京都立医
療技術短期大学専攻科助産学専攻：青木康子，8，
44。
専門職業人として自律できる能力を養う——北海道立
旭川高等看護学院助産婦科：荒田恵子，8，51。

[9月号] 草加市立病院のいきいき助産婦活動

草加市立病院と助産婦活動：関矢仲江，9，9。
妊娠中の援助の実際，9，12。
産科相談室の諸活動，9，18。
自然分娩の実際，9，23。
[グラフ] イキイキ助産婦のアクティブな活動，9，30。
[座談会] ここまでできます，助産婦活動：関矢仲
江・相島初江・渡辺慎子・山崎いつ子・武井恒代，
9，34。
助産婦としてやっていること，考えていること，9，
42。
とまどい変じて，分娩が喜びに：吉川光子，9，42。
33年間において，もっとも仕事に充実している日
々：鈴木恵美子，9，43。
コペルニクスの転回を迫られた再就職：石川玲子，
9，44。
お産は奥が深い：松井朋恵，9，45。
「自分が産むこと」へのお手伝い：谷古宇弘恵，9，

46.
硬い頭がやわらかくなった：鈴木昭子，9，47.
看護婦としてやっていること，考えていること，9，49.
産科副婦長の役割を果たす：成川明子，9，49.
自然分娩はいつも感激的：石井千富江，9，50.
勉強して，自然分娩に目ざめる：白石春江，9，50.
出産の新しい流れが自分のものに：志村成子，9，51.
分娩時の看護開眼：芝田龍子，9，52.
産婦さんから学んで努力の最中：田中旻子，9，53.
産科が大きく変化していた：中野みつ子，9，53.
産科への期待，9，54.
総婦長から——地域の人々に愛される病院に：江下千恵子，9，54.
病院長から——安心できる環境づくりを：八重樫寛治，9，54.
産婦人科医師から——きめ細かな指導と濃厚ケア：小野雅彦，9，55.

[10月号] 新生児は主張する

新生児ケアを見直す——出生時の保温を中心に：横尾京子，10，8.
新生児の超適応能力：戸町 創，10，14.
新生児に未来をみる——小児看護として新生児看護をとらえると：片田範子，10，20.
[座談会] 新生児ケア：新生児のサイドから見直すべきこと：横尾京子(司会)・前田久代・石井光子・住田亮子，10，27.
新生児医療最新の成果：藤村正哲，10，35.

[11月号] 母子感染——最新知見と対応

周産期感染症の今日的視点：一條元彦・斉藤滋，11，8.
行政の対応：大原賢了，11，16.
風疹ウイルス：山崎峰夫・望月真人，11，21.
成人 T 細胞白血病(ATL)ウイルス：武 弘道，11，27.
エイズウイルス(ヒト免疫不全ウイルス)：相良祐輔・久保隆彦，11，34.
ヘルペスウイルス：川名 尚，11，41.
NICUにおける MRSA 対策：近藤 乾，11，48.
成人 T 細胞白血病(ATL)ウイルスキャリアの妊産婦の看護：住田亮子・小林明恵，11，55.

[12月号] 産科婦長の役割

婦長の役割—看護管理の視点から：福山なおみ，12，8.
組織・チームでより良い連携をとっていくために：岡部恵子，12，16.
体験的婦長論—仕事は楽しんでこそ：枝松秀子，12，24.

体験的婦長論—今，思いどおりの看護ができる充実感：千葉ティ，12，31.
産科婦長；この2年，そしてこれから：江角二三子，12，38.
スタッフから婦長に望むこと—いつも前向きに，オープンマインドで：高橋典子，12，44.
スタッフから婦長に望むこと—婦長はオーケストラの指揮者：永澤佳代子，12，48.

第22回 ICM 学術大会から

ワレンさんのあゆみ助産院訪問記—日本も英国も同じ!? 自信にあふれる開業助産婦：菅沼ひろ子，2，49.
ICM 大会インサイド・ストーリー：藤原美幸，2，54.
次回 ICM 大会開催国 カナダの助産婦活動：Carol Hird・Brian Burtch・(訳)尾田葉子，3，48.
キャロライン・フリントさんを囲んで——助産婦のごとを語り合った横浜の一日：鈴木由美，3，55.
助産婦よ，もっと誇りと責任を！——ラングさん聞き書き：聞き手／本誌，構成／河合 蘭，4，44.
日本の助産婦業務と，それがアメリカの助産婦業務に与えた良い影響：ドロシア・M・ラング，4，49.
第22回 ICM 大会演題 私のセレクション：品川信良，5，38.
母と子のために「助産」の自立を——ICM 大会に参加して：永山美千子，5，47.

特別寄稿

インフォームド・コンセントと産科医療：山田哲男，3，42.
出産後自己免疫性甲状腺症候群：網野信行，5，49.
女性の今の現在(いま)：木下明美，7，54.
人工妊娠中絶可能時期の短縮にとまって生じる諸問題：宮路 太，9，56.
糖尿病の女性とそのパートナーにとっての妊娠：押山トシ子，10，51.
助産診断学の意義：三井政子，11，60.
社会福祉の国，フィンランドの出産事情：きくちさかえ，12，54.

特別記事

性科学の第一人者 ジョン・マナー博士に聞く——性にメスを入れる：聞き手／宮原 忍・朝山春江，2，59.
「妊産婦の心の動き」を読む——著者 市川 潤先生 インタビュー：聞き手／山本明美・本誌，4，54.
[座談会] SMC 方式長期研修の実際：鮎沢幸枝・近藤不二子・沼田睦美・瀬川典子・羽柴仁恵・渡辺明美，5，54.

〈インタビュー・1〉イギリスの独立開業助産婦アリス・コイルさんに聞く：聞き手 吉永靖子・小松とし子，8，58.

〈インタビュー・2〉帰国したアリス・コイルさんに日本の助産婦の印象を聞く：聞き手 大関信子，8，64.

中国，人口政策の中の母子保健——上海市産婦人科専門病院訪問記：きくちさかえ，9，62.

お母さん，もう一度，未熟児が産めますか：済生会大関総合病院周産期母子センター，10，44.

クルド難民救援活動に参加して：四野見みゆき，11，64.

[対談] イリアン・ジャヤの出産—伝統的出産から管理出産を照射する：Wulf Schiefenhövel・松岡悦子，[オブザーバー] 新野由子・吉村典子，12，60.

研究・調査・報告

改めてお産の看護を考える：清水嘉子，3，62.

極小未熟児の早期器外保育を試みて：田辺圭子，5，64.

正常分娩と帝王切開術後の褥婦の乳汁分泌量の比較——産後1週間の実態調査：藤田峯子・木下千鶴子・上野範子・福岡正晃，7，59.

助産婦学生における内診法習得過程の実態：宮崎文子・古田祐子，8，75.

座位分娩の具体的管理と介助手技：田中哲二，9，69.

母子分離状態にある母親への援助——他施設訪問を試みて：長谷川美恵子・佐々木みゆき・宮崎つた子，10，58.

半座位分娩の母体に及ぼす影響：国立下関病院産婦人科，11，70.

当院における乳房治療手技の検討：国立相模原病院産科病棟，12，72.

新生児学講座(臨床編)：仁志田博司

20. 呼吸障害児の管理，2，66.

21. 新生児の血糖管理の基礎と実際，3，68.

22. 新生児期に見られる内分泌疾患，4，62.

23. 新生児期に見られる先天性代謝異常(1)，5，80.

24. 新生児期に見られる先天性代謝異常(2)，7，76.

25. 未熟児の脳室内出血，10，75.

26. 低酸素性虚血性脳症，11，76.

フランス出産事情——変わりゆく出産・助産婦・病院：松橋恵子

9. フランスの助産婦 ③ ICM 大会に参加した男性助産婦へのインタビュー，2，74.

10. フランスの助産婦 ④ チーム医療の中の助産婦，3，80.

11. フランスの産院を訪ねて ① 移民の出産，ル・アーブル，4，74.

12. フランスの産院を訪ねて ② 世界の注目を集めたピティヴィエ，5，70.

13. フランスの産院を訪ねて ③ 根本的変革を志向するリラ，7，68.

14. フランスの産院を訪ねて ④ ラマーズ博士の産院，ブルエ，9，72.

15. 多様化する出産と助産婦の未来，10，68.

今月の話題

第1回「国際助産婦の日の集い」——関西地域で有意義に開催：三井政子，8，67.

いつまでも熱い思いをもちつづけたい——「国際助産婦の日」記念講演会に参加して：小林真由美，8，69.

「私らしさで——産む，産まない」をめぐる——人生をのびのび豊かに生きるために：青木やよひ・丸本百合子，8，71.

とうらべ

「子どもの権利条約」と助産婦業務：山内逸郎，2，5.

産婦のケアはスタートケア：大橋一夫，3，5.

「正義」はどこから来る：徳永 進，4，5.

男女共同参加型社会：大熊由紀子，5，5.

妊産婦をモルモットにしてはならない：平良恵子，7，5.

専門的意義と日常的意義：豊川裕之，8，5.

「大地の如き母」を取りもどさなければ：花崎みさを，9，5.

助産婦よ，健康教育の担い手に：逸見武光，10，5.

統計から読み取る助産婦の周辺：福島靖正，11，5.

“ねばならない”からの脱却 興梠清美，12，5.

ニュース・プラス・ワン：落合聡子

松田聖子現象と幼児虐待，2，6.

使い捨て紙オムツは環境の問題だけだろうか，3，6.

戦争が破壊する母性，4，6.

技術は人間をどこへ連れていく，5，6.

「転換期に立つ医学と医療」をメインテーマに第23回日本医学会総会開かれる，7，6.

低用量ピルは，果たして女性の味方か，8，6.

妊娠も出産も，そして子育ても「おしゃれ」の時代，9，6.

バブル経済と出生率低下，10，6.

「子どもの権利条約」と「母乳権」，11，6.

紀子さまと母乳，そして産科改革，12，6.

りれー随筆

- 80. なつかしい学生時代：儀間継子，2，80.
- 81. 故郷，宮古島で：豊見山京子，3，78.
- 82. フリー助産婦となって：浜元勝枝，4，82.
- 83. 充電期間を過ごして：鈴木郁美，5，88.
- 84. 子離れ，10年をふり返り：池田容子，7，82.
- 85. 母なる大地を求めて：家城絹代，8，88.
- 86. 今，地域がおもしろい：沼田睦美，9，80.
- 87. 変わる産科のなかで：川元知子，10，80.
- 88. ただいま，途中下車：丹波恵津子，11，86.
- 89. 助産婦，大好き：岡野真規代，12，78.

気功の精神世界：津村 喬

- 19. 食べることと気功，2，82.
- 20. 気功的生活，3，88.

Medical Scope：島田信宏

- ダウン症候群の出生前診断について，2，85.
- 羊水中のインターロイキン6，3，91.
- 羊水量の測定，4，85.
- 抗リン脂質抗体と胎児(1)，5，93.
- 抗リン脂質抗体と胎児(2)，7，88.
- 乳幼児突然死症候群(SIDS)とモニターの貸し出しケア，8，90.
- 切迫早産例の羊水中細菌，9，84.
- β ・ラクタム剤，10，87.
- アメリカで硬麻分娩急増，11，94.
- 無徴候性細菌精液，12，82.

ちょっとサイエンス：牧 智子

- 母乳と免疫グロブリン，4，69.
- 母乳と成人T細胞白血病，5，90.
- 胸腺のないヌードマウスが人類に貢献する，7，86.
- 細胞は整列し，通信する，8，82.
- 細胞の再生と肝臓移植，9，82.
- 細胞膜の不思議，10，86.
- 呼吸はエネルギーの源，11，92.
- 身体の中のエネルギー貯蔵，12，80.

インターホン

- 第6回「女と健康」国際会議に参加して：中島美登利，4，70.
- 助産婦学生ドラマ「天使の誕生」制作にかかわって：山田仁恵，7，64.
- 「不妊」の翻訳に携わって——不妊の女性たちが語りはじめた：長沖暁子，8，83.
- 正論が届きにくい習慣のカベ——『日本人の子産み・

子育て』を読んで：黒田佳子・浜本 保，10，62.

「マイルズ助産婦マニュアル」全面改定によせて：大関信子，12，69.

私と読書

「障害新生児の生命倫理」を読んで：大倉興司，5，86.

「誕生を記憶する子どもたち」を読んで：原田紀子，10，82.

2冊の本

「宇宙のリズムで暮らしたい」「前世療法」：山川亜希子，3，76.

「娘たちは根腐れて」「命の重さ」：高橋真理，11，88.

新刊紹介

「乳幼児保健指導の実際・第2版」：熊沢美奈好，3，61.

「『寝たきり老人』のいる国いない国」：品川信良，7，85.

「母性という神話——母性愛は本能ではない」：鈴木晶，11，75.

本だな

「小児科医からみたうつぶせ寝とあおむけ寝」，「中川志郎の子育て論」，「医療・看護系のための心理学」，12，75.

私の分娩体験記

母となって，いま本当に「助産婦」でありたい：中村しのぶ，3，74.

クローズアップ

バンクーバーでお待ちしています キャロル・ハード ICM 新会長，1，1.

日本性教育協会設立20年記念講演会のため来日した，世界的セクソロジスト ジョン・マナー博士，2，1.

「与えられる医療から参加する医療へ」インフォームド・コンセントの徹底をめざす 山田哲男医師，3，1.

女性のネットワークで助産院をつくった 小松とし子さん，4，1.

男も女も育児時間を！ 関西育時連世話人 味沢道明氏，5，1.

女性の本と情報の発信地 ウイメンズブックストア 松香堂書店，7，1.

イギリスでホームベースを推進する、独立開業助産婦
のアリス・コイルさん、8, 1.

より良い自然出産をめざして努力をつづける 草加市
立病院の助産婦と看護婦、9, 1.

避妊の電話相談を始めた 番内和枝さん、10, 1.

クルド難民の救援活動に参加した助産婦 四野見みゆ
きさん、11, 1.

エストニアで、自然出産会議を開いたフィンランド人
リーナ・バルバンヌさん、12, 1.

地球の子どもたち：長倉洋海

1. 瞳のまぶしい少女、2, 4.
2. 誕生、3, 4.
3. 路地裏の日曜学校、4, 4.
4. 井戸端ができた、5, 4.
5. チャイの出前、7, 4.
6. おばあちゃんと、8, 4.
7. キャンプの水浴び、9, 4.
8. 荷台の上で、10, 4.

9. 牛を放牧する、11, 4.
10. 市場のオシッコ、12, 4.

読者談話室

瀬戸内海の島に「デーベヤ」を訪ねて：森田せつ子、
3, 87.

助産院での母乳哺育の学習会：永杉さよ子、4, 84.

掛け軸に込められた願い：中村淑美、5, 91.

青年海外協力隊の助産婦として：西村茂美、5, 91.

疑問の残った徳永さんのお話：小安美恵子、7, 87.

徳永さんの講演は、同職者への訴えの声：小田切房子、
8, 87.

婦長への手紙：石垣美記子、12, 76.

トピックス

第32回日本母性衛生学会、水戸市で開催される、11,
91.

JJM 助産婦雑誌

THE JAPANESE JOURNAL FOR MIDWIVES

年間購読のご案内 1992年

●年間予約購読はこんなに便利でお得です。

1. 欠号がなく、确实・迅速です。医学書院では、発行雑誌の1月から12月迄の1か年前金予約購読のお申し込みを受け付けております。雑誌発行のつど弊社から直送しますので、确实に入手できます。
2. この方法でお申し込みになりますと、購読料は、1部ずつお求めになる場合よりも約5%割引になります。郵便料も弊社が負担いたします。

●お申し込み方法

医学書院特約店または直接弊社販売部雑誌係あてに、「助産婦雑誌」とご指示のうえ、1か年分

の購読料をそえてお申し込みください。

1部定価1,030円(本体1,000円)(送料61円)
年ぎめ予約購読料11,760円(送料弊社負担)

●ご送金方法

振替貯金・小為替・小切手・現金書留など、い
ずれの方法でも結構です。

振替によるご注文の際は、巻末綴じ込みの振替
用紙にご記入のうえ郵便局からご送金下さい。

迅速・确实に雑誌をお届けいたします。

〈医学書院販売部雑誌係〉

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

TEL (03) 3817-5660

(振替口座) 東京 7-96693 (加入者名) 医学書院